

1. フェーズ I

1.1 実施目的

- ① メインセンターへの接続確認（「端末開通確認（TCC）」業務）を行う。
- ② 疑似データ等を使用し、第6次NACCS業務の習熟訓練及び利用者システムの機能確認を行う。
- ③ 疑似データとして事前に管理資料情報取出サーバに格納した管理資料情報の取り出し確認を行う。

1.2 対象者と対象業務

(1) 対象者

民間利用者

(2) 対象業務

① オンライン業務

次の業務を除く全業務

- ・利用者設定業務（「利用者情報登録（URY、URYOW）」業務は実施可能）
- ・ディレード業務（「当初輸入申告情報呼出し（蔵出輸入申告等）（DLI01）」業務等）
- ・貿易管理サブシステム業務
- ・MPN関連業務
- ・歳入金電子納付システム業務（REPS関連業務）

② WebNACCS（通関、貨物、包括保険、海上入出港、動物・植物検疫、港湾統計）業務

③ 管理資料情報

作成する

※ フェーズごとの対象業務については、別紙1「総合運転試験業務可否一覧」、管理資料情報については、別紙2「管理資料情報一覧」を参照してください。

1.3 実施日程

平成29年7月10日（月）から7月14日（金）までの5日間

実施日	7月10日 （月）	7月11日 （火）	7月12日 （水）	7月13日 （木）	7月14日 （金）
実施時間	10:00～ 24:00	00:00～24:00			00:00～ 19:00
		内 09:00～10:00 初期化時間帯のため実施不可			
システム日付・時刻	実日、実時間				
関係行政機関 開庁時間	実運用と同様（官署ごとの設定による）				
関係行政機関対応	対応しない				

1.4 メインセンターへの接続確認

(1) 「利用者情報登録（URY）」業務によるパスワード変更（自社システム利用者以外）

現行NACC Sにおける4月16日（日）02：30時点のパスワード（4月16日以降に利用開始した利用者IDについては利用開始時点のパスワード）が、第6次NACC S総合運転試験環境の仮パスワードとして設定しております。利用者IDと仮パスワードにてログインを行った後、「利用者情報登録（URY）」業務でパスワード変更を必ず行ってください。なお、パスワード変更を行わないと、URY業務以外の業務は実施できませんのでご注意ください。

(2) 「端末開通確認（TCC）」業務の実施

(1) でパスワード変更を行った後、「端末開通確認（TCC）」業務を実施し、第6次NACC Sメインセンターへの接続確認を必ず行ってください。

1.5 疑似データ等による業務習熟訓練及び利用者システム機能確認

(1) 疑似データの使用

NACC Sセンターが配付する別紙1「総合運転試験業務可否一覧」及び別紙3「業務シナリオ」に基づき各業種に応じて後続の業務を行ってください。

なお、本フェーズ期間中、疑似データは毎日初期化されるため、前日までに行った業務処理は引き継がれません（初期化のため、毎日09：00～10：00は試験実施不可となります。）。

(2) 過去データの使用

過去に取り扱ったデータを使用して、各業務の習熟訓練等を行うことも可能です。

なお、本フェーズ期間中は毎日初期化されるため、前日までに行った業務処理は引き継がれません（初期化のため、毎日09：00～10：00は試験実施不可となります。）。

(3) 出力情報（非同期電文）

他の利用者が行った業務により出力される出力情報（非同期電文）の内容を用いて自社で可能な後続の業務を行うことも可能です。

(4) 各種照会業務等

疑似データ及び過去データ等で登録した内容を用いて各種照会業務、再出力業務を行うことが可能です。

(5) 納付書の印刷

白紙又は本番用の納付書用紙を使用してください。

(6) 管理資料情報取出

疑似データとして管理資料情報を事前に管理資料情報取出サーバに格納するので、取出確認を行ってください。なお、前日の業務実施内容に基づいた管理資料情報も作成されるため、それを用いた取出確認も可能です（ただし、毎日00：00にデータが初期化され、疑似データのみ状態になります。）。

1.6 管理資料情報の検証

作成周期が本フェーズの日程内にある管理資料情報（日報、週報）について、前日の業務実施内容に基づき管理資料情報が作成されますので、管理資料情報の内容と入力データとの対照確認を行ってください。作成対象管理資料は、別紙2「管理資料一覧」を参照してください。なお、作成された管理資料は作成日の 24：00 に初期化処理により自動削除され、翌日に引き継がれませんのでご注意ください。

1.7 本フェーズ中のN A C C Sセンターサーバでのデータ保存について

本フェーズ中は、毎日登録データが初期状態に設定されます。そのため当日に登録されたデータは翌日には継続されません。

1.8 N A C C Sセンターサーバのシステム環境

(1) 為替等換算レート

本フェーズ中に適用する為替等換算レートは、試験当日に適用する為替等換算レートが設定されます。火曜日に、翌週レートも使用可能となります。

(2) 適用税番等

適用税番等は、平成 29 年 4 月 16 日（日）に適用される税番、税率等が設定されます。

(3) 据置担保等

① 実担保

現行N A C C Sにおける4月16日（日）02：30時点の担保が使用可能です。なお、担保残高は4月16日（日）02：30時点の残高となります（本フェーズ中は、毎日初期化されます。）。

② ダミー担保

架空の輸入者のダミー据置担保（一括）（金額：9,999,999,999,999円）を設定します。なお、担保登録番号は「1AP000001」、輸入者コード「P005A5550000」です。提供原因は、H E N / K E N / B P S / 1 7 M / T E N / 1 9 G です。

③ 担保残高

本フェーズ中は、毎日初期化されます。

(4) 輸出入者情報

4月16日（日）02：30時点の現行N A C C Sにおける輸出入者情報（法人番号との紐づけ情報も付加）に加え、ダミーの輸出入者「P005A5550000（法人番号：86345678901230000）」を特例輸入者、特定輸出者として登録します。

(5) 審査区分

本フェーズ中は、一部例外を除いて、審査区分が「1」になるように設定します。（例外的に区分2・3が出力されても関係行政機関は対応しません。）

(6) 利用者ID、パスワード

（自社システム利用者）

利用者ID及びパスワードは、NACCSセンターから利用者に送付する本番用を使用してください。

(自社システム利用者以外)

利用者ID及びパスワードは、4月16日02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。ただし、パスワードは、第6次NACCSにおいては仮パスワードとして設定します(4月16日以降に利用開始した利用者IDについては、利用開始時点のパスワードが仮パスワードとなります。)

第6次NACCSから参加する利用者については、NACCSセンターから利用者に配布する本番用のものを使用してください。

(7) 船舶基本情報

疑似データ及び4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。

(8) 船会社と船舶代理店の受委託関係情報

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報と、4月16日以降で7月5日(水)までに現行NACCSへの受委託関係登録依頼があった情報を設定します。

(9) 包括保税運送

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。

(10) 機用品品名

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。

(11) 混載仕向地域

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。

(12) フライト

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。

(13) 機用品受託

4月16日(日)02:30時点の現行NACCSの情報を試験用に包括承認設定します。

1.9 その他

- ① 毎日09:00～10:00の時間帯で、初期化を行います(当該時間帯は試験実施不可となりますのでご注意ください。)
- ② 貿易管理サブシステムの画面、帳票テンプレートについては、現行システムの内容となります。
- ③ 総合運転試験版のパッケージソフトではメニューバーが黄色になっています。また、画面下部ステータスバーに「総合運転試験環境」の表示があります。
- ④ 貿易管理サブシステムのみ利用する民間利用者及び汎用申請のみ利用する民間利用者については、本フェーズでログインを行い、「利用者情報登録(URY)」業務により仮パスワードを本番用パスワードに変更を行った後、「端末開通確認(TCC)」業務を実施してください。本番用パスワードは第6次NACCS稼働後も使用しますので、忘れないようご注意ください。